

令和元年12月2日

サイバーセキュリティ関連情報（12月号）

鳥取県警察本部サイバー犯罪対策課

○ キャッシュレスサービスなどに便乗した詐欺に注意！

10月1日からの消費増税に伴い、キャッシュレス決済に対するポイント還元制度がスタートしました。電子マネーやクレジットカード、スマートフォンの決済アプリ「〇〇ペイ」など現金以外のサービスを利用することでポイントが還元となる制度です。

しかし、この制度に便乗したものと思われる詐欺などの手口により、「勝手に買い物をされた」「残高がなくなっている」「カード番号を送ってしまった」といった相談が増加しています。主な手口は、SMSや電子メールで「利用中のキャッシュレスサービスで未納料金が発生しています。至急、確認をお願いします。」などのメッセージが届き、リンク先をタップすると偽サイトに誘導され、コンピュータウイルスがインストールされたり、IDやパスワード、クレジットカード情報等の個人情報の入力を促されるものです。

「未納料金」「至急」などの不安や焦りを誘う文言などに惑わされることなく、いったん落ち着いて事実を確認したり、警察に相談したりするなどの対応をお願いします。

被害に遭ってしまった場合は、IDやパスワードの変更、クレジットカードの停止措置を行い、管轄の警察署まで資料を持参の上ご相談ください。



○ マルウェア「Emotet（エモテット）」の感染拡大に注意！

JPCERTコーディネーションセンターは、10月後半よりマルウェア「Emotet」の感染に関する相談を受けていることを発表しており、特に実在する組織や人物になりましたメールに添付されたWord文書ファイルを実行することによって感染する被害が拡大しているとして注意を呼び掛けています。

「Emotet」は実在する人物や組織になりましたメールを送り付けて端末をウイルス感染させ、端末内から窃取したメールアドレスの連絡先や本文などの情報をもとに新たななりすましメールを作り出す自己拡散型のウイルスであり、10月中旬以降、日本国内で400以上の組織を名乗ったなりすましメールが観測されています。

同センターは、感染被害防止対策として、「組織内への注意喚起」「Wordマクロの自動実行の無効化※」「セキュリティ製品の導入」「メールログ有効化」「OSの定期的なパッチ適用」「定期的なバックアップ」などの対応を実施するよう呼び掛けています。



※【マクロ無効化の設定方法】

Microsoft Office Wordのセキュリティセンターのマクロの設定で、「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」を選択してください。

参考 JPCERTコーディネーションセンター <https://www.jpccert.or.jp/at/2019/at190044.html>

